

Gulpの導入・制作概要

2019.11.10 by kazuya Takahashiu

◇ 今テンプレートで自動化していること。

- 01. ブラウザの自動アップロード
- 02. [scss] ファイル のコンパイル・圧縮処理
- 03. [js] ファイルの圧縮処理
- 04. 画像ファイルの圧縮処理

◇ こちらWindows機を想定して作っておりますのでMacでの動作は未確認です。(のち改善予定)

◇ STEP1. お使いのPCにNode.jsを導入する。

- ・ Node.js は Windows と Mac では導入手順が違うようなので、それぞれネット記事でお調べください。

◇ STEP2. [gulp_install.bat] ファイル をダブルクリック

- ・Macパソコンをお使いの人は [gulp_install.command] ファイルをダブルクリック
- ・npm install コマンドが走り、node_modules のDLが開始されるかと思います。
DLで次第コマンドプロンプトが閉じます。これでGulpを動かします。
- ・[gulp_install.bat] ファイル は削除してもかまいません。

◇ STEP3. [gulp_run.bat] ファイル をダブルクリック

- ・Macパソコンをお使いの人は [gulp_run.command] ファイルをダブルクリック
- ・npx gulp コマンドが走り、ブラウザが勝手に開くと思います。
後は [src] フォルダ内で好きに作業してってください。
タスクランナーが走っているのでブラウザが自動アップロードされるかと思います。
- ・またデフォルトの出力先は [dist] フォルダになっています。
- ・コマンドプロンプトを閉じるとタスクランナーを止めることができます。
以後、また作業開始したい時は [gulp_run.bat] ファイル をダブルクリックしてください。

◇ gulpfile.jsについて

下記画像箇所の ['./src/'] で編集先を、['./dist/'] で出力先を設定できます。
特に不都合ないならこのままでお使いください。

```
16 //パス設定
17 var paths = {
18   'public' : './src/', // 編集先のパス
19   'dist'   : './dist/' // 出力先のパス
20 // 'ip'     : 'localhost' // ipアドレスまたはシンボリックドメイン (XAMPPなどと連携時に設定)
21 }
```

◇ 編集先フォルダでcssファイルを追加・更新する際の注記

出力先フォルダに同期され追加・更新はされます。が、圧縮処理はなされません。
圧縮したい場合、編集先フォルダにある css ファイルの拡張子を [.scss] に直してください。
出力先に自動圧縮されます。